

だいふく

大分社会福祉

No.191
2020.1

元氣いっぱい、
わくわくの一年に!!



特集

大分県の介護の未来を担う！

～外国人介護人材の受け入れ推進に向けて～



Twitter

facebook

やってます
ぜひ登録をお願いします

大分県社協

検索

<http://www.oitakensyakyo.jp>



この広報誌は、共同募金の助成を受けて
発行しています

- フードドライブ＆バザー開催
- 第16回大分県ボランティア・NPO推進大会開催
- ねんりんピック紀の国わかやま2019／美術展作品募集
- 子ども食堂ネットワーク ブロック別連絡会／子ども食堂応援協力店
- 令和元年度子育て環境セミナー
- 苦情解決セミナー／「大分県ゆうあいスポーツ大会」受賞
- 「早めの避難支援のための出前講座」開催
- 教育支援資金のご案内
- あすぴあフェスタ2019開催
- あすぴあ俱楽部からのお知らせ／大分県民児協新体制／善意銀行
- 第14回大分県福祉推進大会／賛助会員

大分県の介護の未来を担う!

～外国人介護人材の受入推進に向けて～

団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者(75歳以上)に達し、日本の高齢化はますます進行すると言われています。それに伴い、介護需要も伸びることが想定されますが、厚生労働省の推計によると、2025年時点、大分県内では介護職員が1,607名不足する見込みとなっており、大幅な介護人材不足に陥るおそれがあります。

この状況を開拓する1つの方策として今注目されているのが、「外国人介護人材」の受入です。

大分県では、外国人介護人材の受入推進に向けて、迅速な対応をしています。今年度はとりわけ次の3点について順次行うこととしています。

全体概要						
介護人材不足の推計		全 国		大分県		
介護人材不足(2025年)		2020年	2025年	2018年	2020年	2025年
[全国]	[大分県]	33.7万人	1,607人	22,359	23,616	25,549
需要推計		2,160,494	2,446,562			
供給推計		2,034,133	2,109,956	22,612	23,269	23,942
差引		▲126,361	▲336,606	256	▲347	▲1,607

課題(介護分野の特殊性)
(1)利用者との意思疎通・介護記録の作成：他分野に比べ、高い日本語・コミュニケーション能力が求められる。
(2)送出国での介護の認知度不足：高齢化が進んでいない国では一般的に「介護」の概念が薄く、選択肢にあがりにくい。
(3)他国を含めた地域間の獲得競争：他国間・地域間の人材獲得競争の激化が見込まれる。

他分野に先行して外国人介護人材確保対策を展開

外国人介護人材受入準備	来県後研修等の実施	大分県コース設置に向けて
・受入推進協議会の設置 行政、社協、施設、支援機関、学識経験者等による意見交換、連携協力等の体制構築	・集合研修の実施 県内4か所で実施 日本語能力・介護技術向上など2日間 ・支援員(アドバイザー)の派遣 技能実習生受入施設等を訪問	・県内施設と連携した講師候補生の養成 現地法人と連携した特定技能人材の養成 ・大分県コースでの講義の実施 講師による日本語(介護現場で必要な日本語を含む)、日本式介護の講義(R.2~)

協議会の設置と、受入に向けたセミナーの開催

今回のような外国人介護人材の受入体制を包括的に構築する取組は、全国的に珍しい先駆的な取組みです。

そこで、様々な関係者のお知恵を借りて進めるために、「外国人介護人材受入推進協議会」を設置し、その中で、現状分析や情報の収集及び精査、意見の集約を行うとともに、大分県への就労希望者などの円滑な受入支援体制の構築を図ろうと考えています。

また、外国人介護人材の受入を検討している施設の方々を対象としたセミナーも企画・実施し、受入推進協議会での検討内容を含め、様々な情報提供を随時行います。



外国人介護人材・来県後研修等の実施

県内の外国人介護人材を対象とした集合研修等の実施

来県後研修等の実施

大分県で既に就労を開始している外国人「介護」技能実習生等のスキルアップのみならず、他施設の職員との交流を通して、外国人介護人材の横のつながり(ネットワーク)を作ることを目的に、県内4か所で集合研修を実施。



集合研修のフォローアップ等を目的とした支援員の派遣

大分県内の「介護」技能実習生の受入施設等を訪問、支援。

本県には、2019年度中に、約80名の「介護」技能実習生が入国する見込みです。(大分県高齢者福祉課調べ 2019年6月時点推計)

これらの方々が、県内の介護現場において円滑に就労・定着できるよう、介護技術や日本語能力、資質の向上に向けて、定期的に集合研修等を開催します。

また、フォローアップを目的に支援員の派遣を行います。

集合研修の実施は、1月～3月を予定しており、詳細は、県や介護研修センターホームページ等にて公開していますので、積極的なご参加・ご活用をお願いいたします。

「大分県コース」をベトナムに…

2019年4月より、新たな在留資格「特定技能」がスタートしました。

これは、深刻化する人手不足に対応するため、生産性向上や国内人材の確保のための取組を行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業分野において、一定の専門性・技能を有する外国人材を受け入れる制度であり、「介護業」は、この特定産業分野の1つ目に位置づけられています。

即戦力となる外国人介護人材の確保に期待をしたいところですが、「特定技能」の受入は、5年間で6万人と入国人数の目安が示されていることに加え、大分県に比べ、好待遇の都市部に、優秀な人材が集中することが懸念されています。

更にはドイツやカナダなどの給料が日本より高く、数年で永住権取得のチャンスが与えられるなど、条件が良い他の国々も含めた人材獲得競争も激化しています。

このため、大分県では、次年度以降「大分県に介護人材を送り出すための人材養成コース」を、送り出し国の国内に設置することで、安定的に「大分県」に介護人材を送り出してもらうスキーム構築のためのモデル事業をスタートします。

U International Human Co.Ltd



Director 佐々木 泉さん LE THI NGOC TUTEN
(ベトナム国際弁護士)
Founder 佐々木 弘志さん

《佐々木泉さんプロフィール》
1986年 ベトナム国ホーチミン市出身
2009年 立命館アジア太平洋大学(アジア太平洋学部)卒業
2015年 ベトナム国家大学ホーチミン経済法律大学卒業
2015年 U International Human Co.Ltd を設立
2017年 ベトナム法務省 司法学院卒業
2018年 ベトナム国 弁護士 登録

この取組に、APUの卒業生で、現在ベトナム国内で人材養成や人材の送出しを行っている「Le Thi Ngoc Tuyen (日本名:佐々木 泉)さん」が賛同くださり、大分県からの委託を受けた大分県社会福祉協議会では、佐々木さんの会社「U International Human Co.,Ltd (以下「U.I.H」という。)」と協働で、「大分県コース」設置に向けた準備を開始しています。

講師候補生の養成

「大分県コース」で教鞭をとる講師の候補生は、10月～1月にかけて来県し、介護研修センターや、県内の施設等で3ヶ月間の研修を行いました。

講師候補生は、20代の女性3名。ベトナム国の大学において看護を学んだ方や、日本に2年間語学留学経験のある方など、優秀な方々で、滞在する3ヶ月の間、県内の特別養護老人ホームで研修を行いつつ、介護技術研修等の研修も受講しました。



フードドライブ＆バザーを実施しました!

皆様のご協力により、合計248点、およそ118kgの食品等をご提供いただきました。お預かりしました食品等は、食に困っている方や子ども食堂、福祉施設などにお届けします。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

フードバザー



10月27日

「あすぴあフェスタ」
身障センター(あすぴあおおいた)

フードドライブ



11月10日

「春日まつり」
大分市立王子中学校体育館



11月13日

「大分市社会福祉大会」
ホルトホール大分



11月16日

「おおいたうつくし感謝祭2019」
大分駅北口前広場

第16回 大分県ボランティア・ NPO推進大会を開催

10月17日、大分市のトキハ会館5階ローズの間で「ボランティアNPO推進大会」を開催しました。

県内のボランティア等約200名の参加をいただきました。



基調講演は「人がつながり、動きだす場づくり」というテーマでNPO法人ハンズオン埼玉理事の西川正氏にお話いただきました。

また、どっぽちゃん食堂(佐伯市)、大分県立大分南高等学校、大分県立芸術文化短期大学、シニアクラブ 三色すみれ(臼杵市)の4団体から活動報告があったほか、社会福祉施設等による食品の即売もありました。



ねんりんピック 紀の国わかやま2019

11月9日～12日の4日間に渡り、「あふれる情熱　はじける笑顔」のテーマのもと、第32回全国健康福祉祭和歌山大会(ねんりんピック紀の国わかやま2019)が、和歌山県下9市12町で開催されました。

大分県からは、県内最高齢出場者の衛藤國夫さん(86歳・大分市、弓道)をはじめ、卓球、テニス、囲碁、将棋など、14種目に74名が参加。日頃の練習等の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。美術展では、写真の部で熊谷明さん(竹田市)が銅賞を受賞しました。

令和2年度は、10月31日～11月3日に岐阜県で開催されます。



豊の国ねんりんピック
美術展、短歌・俳句・川柳展
作品募集！

第31回豊の国ねんりんピック「美術展」「シルバーふれ
あい短歌・俳句・川柳展」が、令和2年5月14日～5月19日まで大分県立美術館(OPAM)の3F展示室で開催されます。

短歌・俳句・川柳(1月31日まで)と日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真(2月7日から3月19日まで)を募集しています。短歌・俳句・川柳は専用のはがきで、美術は市町村の高齢者福祉担当課にお問い合わせ下さい。

美術の各部門で最優秀賞を受賞された12点の作品は、11月に岐阜県で開催される「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」美術展に大分県代表として出品します。60歳以上のみなさま、ふるってご応募ください！



昨年の作品展と表彰式

仲間を増やして、活動を広げよう！

大分県内の子ども食堂と、支援してくださる団体、行政、市町村社協などが一堂に会する「おおいた子ども食堂ネットワークブロック別連絡会」を行いました。県内を7ブロックに分けて、8月28日～10月4日まで全7会場にお邪魔しました！

今回の連絡会では、講師に谷川真奈美さん（特定非営利活動法人地域ひとネット代表理事）をお招きして、子ども食堂やボランティア・NPO活動を続けていく上で大切なことをお話をいただきました。また、行政や市町村社協の担当者から、子ども食堂を設立・運営する際の補助金・助成金制度をご紹介いただき、グループトークでは各市町村の子どもを取り巻く状況や課題などを話し合い、「今自分ができること」を考える時間となりました。



子ども食堂応援協力店

子どもは地域の宝！ たくさん食べて大きくなってね！



この度、丸果大分大同青果株式会社並びに大分市青果仲卸協同組合より、大分市内の子ども食堂9か所に野菜や果物を無償でご提供いただけたこととなりました。品質には全く問題がない、いわゆる「規格外品」を無償で子ども食堂へ譲渡し、子どもたちにたくさん食べてもらおうという取組みです。



10月23日には、大分市公設卸売市場にて「キック・オフ会」を行い、これから支援をしていただく青果会社と支援を希望する子ども食堂代表者が集い、「いつ青果の受け渡しをするのか」などを話し合いました。支援していただく青果会社の店頭には、「子ども食堂応援協力店」の看板が掲げられています！



地域のみんなで 子どもを育てよう！

9月25日、ビーコンプラザ・フィルレハーモニアホール(別府市)にて、「令和元年度子育て環境セミナー」を開催しました。県内各地から530名が参加し、“地域での子育て”について学びました。

まず、ご講義いただいたのは、佐伯市内町で子ども食堂や認知症カフェを運営されている精神科医の山内 勇人氏。

これから日本は、「人口減少」と「人生100年時代」という時代を迎える中で、子どもや高齢者、障がい者への支援はどうにしたらよいのかー。そこで山内さんは、佐伯市に誰もが参加できる“ごちゃまぜの場”を作り、対象者を限定しない「とんとんとん広場」「とんとんとん食堂」を運営されています。

講演では、「子どもは守るだけでなく、使命を与えると一生懸命頑張る」ということや、悩んでいる子どもに「何かあったら相談してね」と声をかけてあげることが大切、ということを教えていただきました。



また、日頃から地域で子どもに関する活動をされている方々に活動発表をしていただきました。人間関係の希薄化している現在でも、子どもや地域のことを想って、積極的に活動されている方が県内にも沢山いらっしゃいます。これからもこのような活動の輪が広がっていくことを願っています。



活動発表①

甲斐 賢二 氏 (NPO法人碧い海の会 事務局長)

・三世代交流についての発表

「お年寄りの元気が、次の世代の元気につながる」



活動発表②

久寿米木 重生 氏
(佐伯市鶴谷中学校区 教育コーディネーター)

・地域と学校の連携についての発表

「学校と地域が双方向で子ども達を支援することで、
子ども達が心豊かに頼もしく育っている」

「苦情は宝」

福祉サービスの向上に向けて

11月28日、大分県社会福祉介護研修センターにて、苦情解決セミナーを開催しました。

県下の福祉事業所から苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員など200名の参加がありました。



テーマ：苦情を活かした福祉サービス－苦情の構造を理解する－

講 師：倉田康路氏（西南学院大学人間科学部社会福祉学科 教授）

講義内容

- ① 苦情申立人の複雑な「思い」
- ② 苦情が申し立てられる事業者の共通性
- ③ 苦情を活かせばサービスが変わる



苦情が申し立てられるという、いわば「失敗」をその失敗から学び、「成功」としての利用者・家族の満足感やサービスの質の向上につなげていくこと。

苦情を後向きにとらえるのではなく前向きにとらえ、どう改善していくチャンスと受け取るか、とのことから社会福祉法第3条、5条、82条の解釈、苦情にいたる原因、苦情の構造、苦情のプロセスを分かりやすく解説しながら、講師自身の経験に基づく「苦情事例」を通して、事業者に対して、どのような改善を求め、サービスの質の向上につなげるかを学びました。

最後に、苦情発生の必然性を認識し、「不満」を引き出す。マニュアルの整備や迅速に対応するなど、個人としてではなく、組織として対応する。運営基準に基づくサービスの提供は最低限、家庭一般の「ふつうの生活」をめざしたサービスの質の向上を図ること。「苦情は宝」という言葉で締めくくられました。

「大分県ゆうあいスポーツ大会」 文部科学大臣表彰を受賞！



「大分県ゆうあいスポーツ大会」は、県内の知的障がいのある施設利用者がスポーツを通して、体力の向上と融和を図り、「完全参加と平等」の実現を目的として大分県知的障害者施設協議会が開催しています。

12月3日、本大会が障がい者の生涯を通じた多様な学習を支える活動であって、他の模範と認められる活動として「障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰」を受賞しました！

歴史ある本大会は、第39回を数え、毎年100m走、フライングディスク、400mリレーなど選手による熱戦が繰り広げられますが、施設職員が運営スタッフ・審判を務め、地域のボランティア、学生など多くの方々の参画によって運営されています。今回の受賞は、多くの皆様の長年にわたるご協力の賜です。本当にありがとうございます！

次年度は、いよいよ第40回大会。受賞を契機によりよい大会運営をめざします。引き続きのご協力をどうぞよろしくお願ひいたします！

災害からみんなの命を守るために…!!

『早めの避難支援のための出前講座』開催



令和元年度迫自主防災会主催の防災訓練が10月27日、迫公民館(大分市)で開催されました。

避難訓練後、滝尾地区防災士協議会 会長 長尾博行氏に「災害時要配慮者等への支援の取り組みについて」と題してご講演いただき、防災士・地域住民の皆さんなど96名の方のご参加がありました。

講演では、災害情報の収集方法や迫地区の水害リスクについて、また、誰もが安心して地域で暮らすための要配慮者支援について、地域の「絆」が大切である事などについて分かりやすくお話をいただきました。

県ボランティア・市民活動センターでは、今年度から災害時に配慮の必要な皆さん(高齢者、障がい者、乳幼児や妊産婦、疾患を持った方、外国人等)が早期避難するために必要な事を、要配慮者ご本人や家族、地域の方、支援者の皆さんと一緒に考える講座に講師を派遣しています。実施を希望される方は、事務局(097-558-3373)までご連絡ください。



今年度実施予定

- 福祉関係者に対するセミナー … 33か所
- 要配慮者に対する防災教室 … 18か所
- 自治会自主防災組織へのアドバイザー派遣事業 … 10か所



あなたの夢
あきらめないで!

教育支援資金のご案内

教育支援資金とは、低所得等で進学の費用が準備できない世帯を対象に、高校、短大、大学、高等専門学校等に就学するのに必要な経費を無利子で貸付ける修学支援制度です。



教育支援資金

(1) 教育支援費

(例:授業料、学校納入諸経費、参考書、学用品、交通費、下宿・アパート代等)

《貸付限度額》

- ①高等学校 …… 月35,000円以内
- ②高等専門学校 …… 月60,000円以内
- ③短期大学 …… 月60,000円以内
- ④大学 …… 月65,000円以内
(6ヶ月毎の分割交付)

※熱意や計画性が確認された場合には、貸付限度額を1.5倍まで増額できます。

(2) 就学支度費

(例:入学金、制服、教科書、下宿の敷金等
学校入学時に納入・購入するもの)

《貸付限度額》

500,000円以内(一括交付)



貸付対象者

大分県内に居住している低所得世帯…世帯の収入が一定基準内の世帯
※進学する子どもが借受人となり、世帯主または世帯中心者が連帯借受人となります。

償還期間

学校卒業後、据置期間(6ヶ月以内)経過後20年以内

ご相談・お申し込みは、お近くの民生委員またはお住まいの市町村社会福祉協議会へ！

「あすぴあフェスタ2019」を開催しました!

あすぴあおおいた(大分県身体障害者福祉センター)では、10月27日に第9回あすぴあフェスタ2019を大分県総合社会福祉会館で開催しました。当日は、秋晴れの陽気にも恵まれ、延べ2,000人を超える来場者にお越しいただきました。

9時50分からのオープニングセレモニーを皮切りに、10時からみゅうじっくフェスタを開催し、ご当地アイドルグループChimo(チャイモ)、手話サークル「はぐるま夜の部」、そして、ダンススクール「GENKIっず」の皆さんによる歌やダンスで、会場は大いに盛り上りました。また、13時からのふれあい講演会では「子どもを理解する力～4人の発達障害の子育てから学んだこと～」と題し、自閉症スペクトラム支援士の堀内 祐子先生にご講演をいただきました。大変多くの方が熱心に聴き入り、また、会場からの質問も数多く寄せられるなど、発達障害に対する関心の高さを改めて感じました。



体育室での「ふれあい市」では20団体が出店し、さつま汁やパン、クッキー、生活雑貨などの販売を行い、どのブースも大変賑わっていました。また、「スポーツ吹矢」や「絵手紙ライブ」、「手話体験」、「まちの保健室」などの各体験コーナーも、障がいのある方や、高齢者、家族連れの方など多くの方が参加し、楽しい時間を過ごしていました。

フェスタ最後のイベントである「ふれあい抽選会」も大盛況でした。会場の4階大ホールでは、用意した椅子だけでは足りず、立ち見も出る状況で、また、当選者の発表の度に歓声やどよめきが会場全体に響き渡るなど、大変な盛り上がりを見せました。

今年のフェスタも、センター登録ボランティアや、大分大学・大分県立看護科学大学・大分県立芸術文化短期大学の学生ボランティアなどの皆さんに、前日の準備や当日の運営、写真撮影等で多くのご協力をいただきました。誌面をお借りして、ボランティアの皆様、そして、ご協力をいただいた関係機関・団体の皆様に心からお礼を申し上げます。



「あすぴあ俱楽部」への参加をお待ちしています！

センターでは、6月30日に第1回目の「あすぴあ俱楽部」を開催して以来、多くの方が「切り絵」、「折紙」、「合唱」、「将棋」、「パンづくり」などの各俱楽部で楽しい時間を過ごしています。興味、関心のある方の積極的な参加をお待ちしています。

一緒に楽しく
活動してみま
せんか♪



「あすぴあ俱楽部」は、毎月末に1回、開催します。詳しい日程などは、あすぴあおおいたのホームページでご覧いただけます。（<http://www.sc-oita.net/>）

**参加は自由です。是非、気軽にお越しください。
皆様の参加を職員一同、お待ちしています。**

問合せ先:097-558-4849／塩崎

大分県民児協が 新体制 になりました

令和元年12月、民生委員・児童委員の全国一斉改選が行われ、大分県民生委員児童委員協議会の新役員が決定しました。

今後、新体制で県内の地域福祉並びに民生委員・児童委員活動を積極的に推進してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



役 職	氏 名	所属市町村民児協名
会 長	定宗 瑛子	大分市民生委員児童委員協議会
副 会 長	高橋 洋明	別府市民生委員児童委員協議会
副 会 長	平井 庸夫	豊後大野市民生児童委員協議会
副 会 長	仲矢 和雅	佐伯市民生委員児童委員協議会
副 会 長	芝田 英征	九重町民生委員児童委員協議会
理 事	廣瀬 慎子	大分市民生委員児童委員協議会
理 事	渕 芳包	大分市民生委員児童委員協議会
理 事	宝珠山 博一	中津市民生委員児童委員連合協議会
理 事	飯田 富佐子	日田市民生委員児童委員協議会
理 事	三重野 猛志	臼杵市民生委員児童委員協議会
理 事	山添 義昭	津久見市民生委員児童委員協議会
理 事	阿南 哲也	竹田市民生委員児童委員協議会
理 事	安東 洋義	豊後高田市民生委員児童委員協議会
理 事	阿部 秀夫	杵築市民生委員児童委員協議会
理 事	中山 実生	宇佐市民生委員児童委員協議会
理 事	山出 三男	由布市民生委員児童委員協議会
理 事	大上 文紘	国東市民生委員児童委員連合会
理 事	神田 英巳	日出町民生委員児童委員協議会
理 事	穴井 道博	玖珠町民生児童委員協議会
理 事	中城 輝孝	姫島村民生委員児童委員協議会
主任児童委員連絡会代表	松田 政隆	中津市民生委員児童委員連合協議会
顧 問	安部 敏朗	元日田市民生委員児童委員協議会会长

善意銀行預託者

平成31年4月～令和元年12月



大分県善意銀行は、小さな善意を大きな輪にして、しあわせな社会、まちづくりに役立てたいと願って、昭和37年5月1日、全国で一番最初に誕生しました。

皆様からいただいた金品・物品は、社会福祉施設や各種地域福祉活動、またご指定があった事業等に活用しています。皆様からの善意ありがとうございます。

- 株式会社大分放送
- 竹田市総合文化ホール
- 全国納豆組合連合会
- 福永海運株式会社
- インホープ株式会社
- 末棟 清憲
- 大分信用組合
- 公益財団法人老人はげみの里見会

- 大分県農業共済組合
- 日産プリンス大分販売株式会社
日産プリンス大分販売労組
- 株式会社レイメイ藤井 大分支店
- 大分教区仏教婦人会連盟
- 聖公幼稚園
- 豊和銀行従業員組合



いつも
ありがとうございます

(敬称略・順不同)

第14回 大分県地域福祉 推進大会

大分県社会福祉協議会会長表彰 会長感謝状受賞者

《会長表彰》

区分	個人	団体
民生委員特別功労者	15	
社会福祉施設職員	43	
社会福祉団体役職員	12	
自立更生者	1	
ボランティア功労者・団体	9	4
善意銀行寄付者	-	3
合計	80	7

《会長感謝状》

区分	個人	団体
ボランティア功労者・団体	8	16
善意銀行寄付者	2	5
合計	10	21



県社協会長表彰の授与



ビーコンプラザコンベンションホール

午後の部は、特別講演として日本唯一のお笑い理学療法士 日向亭葵(ひなたてい あおい)さんをお招きし、「エアリハで姿勢を整え介護予防～転倒しない習慣作り～」と題してご講演いただきました。

講演では、高齢者の転倒や認知症の不安を一掃すべく、オリジナル体操「エアリハ」を会場の皆さんと一緒に実施するなど、体を動かし笑いに包まれた時間となりました。



特別講演：日向亭葵 氏

賛助会員ご紹介

令和元年 12月 31日現在

本会の活動に賛同いただける「賛助会員」へのご加入をお願いしています。賛助会費は、県内の地域福祉活動を支援するために使われています。ご加入いただきありがとうございました。

(敬称略・順不同)

企業・団体	名鉄観光サービス株式会社 大分支店	一般社団法人大分県建設業協会
新日本法規出版株式会社 福岡支社	医療法人英然会 里見医院	大日商事株式会社
医療法人社団仁泉会 畑病院	株式会社電子印刷センター	丸果大分大同青果株式会社
社会保険労務士事務所 SRI	医療法人社団三杏会 仁医会病院	特定非営利活動法人銀河鉄道
大分電子工業株式会社	特定非営利活動法人ゆうゆう	大分県医師会
ライフホームまない	有限会社福 小池原福招苑	一般社団法人大分県歯科医師会
医療法人向心会 大貞病院	濱田重工株式会社 大分支店	医療法人社団唱和会 明野中央病院
玖珠工業株式会社	公益社団法人大分県理学療法士協会	一般社団法人生命保険協会 大分県協会
杉谷診療所	株式会社大分銀行	大分県済生会日田病院
医療法人社団内尾整形外科医院	株式会社三想	特定非営利活動法人ホビータイム
株式会社オーナー・ビー・シー	社会福祉法人玖珠会	三井住友信託銀行株式会社 福岡天神支店
富国生命保険相互会社 大分支社	株式会社テレビ大分	一般社団法人大分市医師会
有限会社大分エンゼル商事	有限会社朋友	大分県商工会議所連合会
医療法人鶴友会 老人保健施設メディトピアこが	日本電通株式会社 大分営業所	有限会社後藤企画
医療法人鶴山会 秋山医院	サーマエンジニアリング株式会社	大分ゼロックス株式会社
株式会社豊和銀行	グローバルライフ生石	医療法人岡仁会 大分共立病院
大分県司法書士会	東九州設計工務株式会社	医療法人慈愛会 向井病院
有限会社ワイスケア	株式会社大分放送	株式会社アースアンドウォーター
株式会社大分白屋	大分朝日放送株式会社	医療法人畏敬会 井野辺府内クリニック
よしこめ内科・神経内科クリニック	有限会社寺司装備	医療法人大分朋友会
株式会社佐伯建設	医療法人社団親和会	

個人	臼杵 清次	大津 幸江	平岡 祥子	河野 千代子	松田 重博	モジュンダル由美子
	神本 紀武	伊東 雅人	西永 和夫	富高 義和	梅木 豊誌	石井 克典